

ジェネレーションパスの岡本社長に聞く



ンパス（東京都新宿区）の岡本洋明社長に、物流の「2024年問題」が引き起こす通販業界への影響や、今後を見据えた事業転換の経緯は、24年以前からずっと

ようになっているのも、こうした問題が背景にあったからだ。つまり、より上流過程に行かなければ利益をと

「物流で一番の問題
となっているのは、不

きるようにならないと、事業運営としてはますます難しくなる」

**置き配の普及
に向け課題も**

——そのほかに改善

ある。紛失や盗難、また、置いた場所によっては、日中では問題がなくても明け方は夜露で濡れてしまうなど、様々なケースがあるからだ。

を使った事前の在宅確認なども始まっている。新しい技術の導入には最初は時間がかかるものだが、認知されていけば一気に進む可能性がある。そうした

「当社の場合、数年

下

自社でもモノづくりを

上流過程に入る努力が必要

こまでの広大な（保管）ろ。配車の効率化だ。配送事業者だけでなく、位置情報の活用、我々、通販に関わ

用、一般の人でも配送 っている人間も変わっ

加えて、コロナ禍とできるようなマッチンていかないと時代に取

なってから、置き配サグの仕組みなど、こうり残されてしまうだろ

ービスが広がっていったところも少しずつ。あまり、目先の利

き、ある程度状況は良
やらざるを得ないと感
益だけを追うようない

くなく、てきたようにも
じている。

とはせず、
長期的な視

見せるが、こちらを改めて一部に配送する。野に立っていきなさいと

業者では『LINE』思っ
(おわい)